



学校教育目標「豊かな心と 確かな学力 つながりあう学校」NO.10

庄内西小学校だより

令和4年(2022年)6月28日発行

校長 西口肇子

カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください。

戦争の悲惨さ 平和の大切さ 命の尊さを学ぶ

連日のようにウクライナ情勢についてのニュースが流れ、リアルタイムで映し出される悲惨な光景には、胸が痛みます。また、6月23日には「沖縄慰霊の日」の式典の様子とともに、「悲劇の沖縄戦」の映像も放映されていました。

アメリカ軍の上陸により国内唯一の激しい地上戦が展開された沖縄。軍民混在という異常な戦場状況の中で、軍人を上まわる数の住民が犠牲になった。その中にはアメリカ軍の攻撃ではなく、「集団自決」の強制など、日本軍によって命を奪われた人々も大勢いて、実に、県民の4人に1人が亡くなったと言われている。

日本国憲法の第9条には「戦争の放棄」が明記され、「平和主義」が謳われています。「ノーモア ヒロシマ ノーモア ナガサキ」のスローガンの通り、世界中から、核兵器や武器がなくなり、真の平和が訪れることを願ってやみません。

折り鶴朝会 (5/21)

6年生が各クラスに入り「原爆の子の像」に捧げる折り鶴を一緒に折りました。



平和学習週間 (5/31~6/3)

全学年がランチルームでのパネル展を見学し、教室では平和について考えるDVDを見ました。



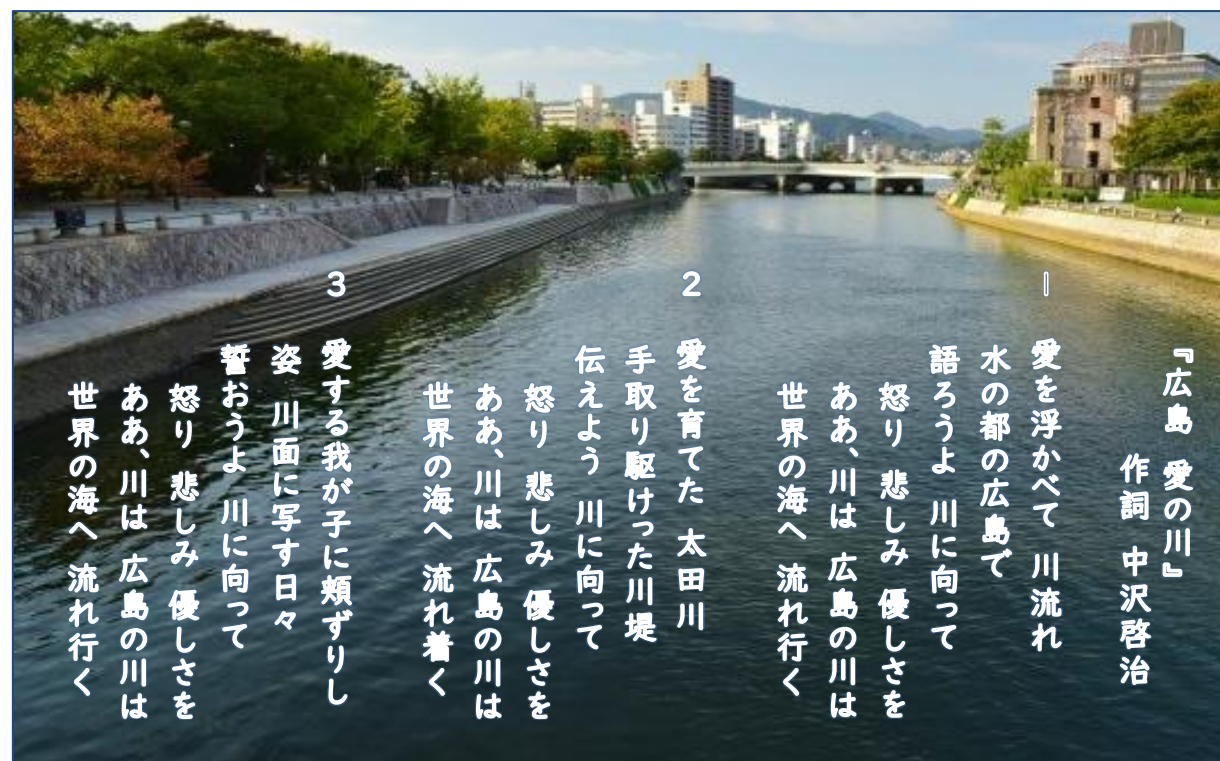
行ってきます集会 (6/8)

全校児童で折った千羽鶴を披露しながら、ヒロシマへ修学旅行に行く意義を伝える6年生。力強い平和宣言も、美しい歌声も、本当に素晴らしく、胸が熱くなりました。



ヒロシマ修学旅行 (6/9~6/10)

平和記念公園では、まず、原爆ドームを見た後、『原爆の子の像』の前で、セレモニーを行いました。実行委員の進行で黙祷のあと、「行ってきます集会」でも歌った『広島 愛の川』を合唱し、平和への祈りをこめて、折り鶴を捧げました。



中沢啓治さんとは・・・

広島での自らの被爆体験にもとづいた作品『はだしのゲン』で知られる漫画家です。原爆をテーマにした漫画を通じて、戦争や核兵器の悲惨さを訴え続けました。

ヒロシマでの体験は、原爆や戦争の被害を知り、平和や生命について深く考える機会になったと思います。ご家庭でも平和について話題にしていいただければと思います。